

# ジャンプ!!

令和2年12月10日

## 13～15日は双子座流星群が見られます!

私立高校のネット出願、推薦入試の面接練習、公立前期入試の志願理由書と、中学3年生の師走はいつも以上に忙しい日々です。おまけに、コロナにもインフルエンザにも気をつけなければならない大変な年となりました。そんな中でも星空では、いつもどおりのイベントが催されます。

流れ星がいくつも流れる「流星群」とよばれるものが、1年のなかではいくつもあります。その中で「三大流星群」とよばれる、コンスタントに多くの流星が流れる流星群があります。1月の「しぶんぎ座流星群」と、8月の「ペルセウス座流星群」と、12月の「ふたご座流星群」です。しぶんぎ座流星群とペルセウス座流星群は、夜中の12時過ぎにならないと流星が流れ始めないので、見るのが大変なのです。しかし、ふたご座流星群は夜半前から流れ始めるので、見やすい流星群となっています。

その「ふたご座流星群」の今年の極大日（一番たくさんの流星が流れる日）が12月14日なのです。ふたご座の頭のあたりから、四方八方に放射状に流星が流れるようですが、13日の夜と14日の夜に最もよく見られるでしょう。1時間に最高で60個ぐらいの流星が流れると思われま。しかし、町中で空が明るかったり、空の一部分が建物にかくされて見られなかったりすると、見られる流星の数は少なくなります。さらに、一人でいっぺんに夜空のすべては見られないし、視力の関係もあるので、実際に一人で見ることのできる流星の数は、最高でも1時間あたり30～40個程度です。それ以外に、「運」も関係します。15分ぐらいまったく流れないこともあれば、5分間で7～8個流れることもあります。みなさんの運はどうでしょうか？また、流星が流れている間に願い事を3回言うと、その願い事は叶うと言われてい。さあ、みなさんは運良く流れ星を見て、願い事を3回言えるでしょうか？

今の時期は、ふたご座が東の空からのぼってくる時間は夜の7時すぎです。ですから、流星を見るのであれば、夜の8時以降に見て下さい。流星は、いつどこに流れるかわからないのでポーッと夜空をながめていきましょう。ただし、夜半前には西の空にはあまり流れません。ふたご座がある東の空を中心にながめている方が、流星を見られる可能性が高くなります。また、右の図を参考にして、流星を見ながらオリオン座やおおいぬ座などの、冬の星座を見つけるのも楽しいでしょう。

週間天気予報を見ると、晴れるかどうかちょっと心配なのですが、もしも晴れたら受験勉強の合い間に、気分転換に夜空を見上げてみて下さい。ただし、友達と集まってワイワイさわいで近所迷惑になったり、家族に話さないで一人で家から離れて心配かけたりしないこと。また、風邪などひかないように十分に注意して下さい。

### ☆12月13日(日)の朝方、東の空で三日月と金星が大接近!

今度の日曜日の朝方には、東の空で三日月と金星がチョー大接近をします。13日は、月がのぼってくるのが5時ごろ、空がすっかり明るくなるのが6時ごろですから、見るチャンスは5時～6時の1時間ぐらいです。見るのに、特別に用意するものではありません。肉眼で見えに。もしも大きく見たいのならば、双眼鏡があると便利です。早起きは大変ですが、晴ればとって素敵な光景が見られるはず。す。

\*流星は放射点を中心にして、四方八方に流れます。星空の見え方は、2020年の群馬でも上図と同じに見えます。

